

別表第1 評価領域及び行動プロセスに関する着眼点

※「着眼点」は、職務を遂行する上で通常必要とされる水準を例示したものである。

主幹教諭（看護教員）

評価領域		着眼点
I 学校の組織的な運営		<ul style="list-style-type: none"> <li>・校長、副校長及び教頭の指示を受け、その職務を整理し、校長等が判断・処理できるようとりまとめている。</li> <li>・企画委員会等の構成員として学校運営に積極的に参画している。</li> <li>・学校運営が組織的、機動的になされるよう、教職員の共通理解の下、積極的に分掌間の調整等に努めている。</li> </ul>
II 自立活動の指導・環境整備等	自立活動の指導等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者や医療機関と連携し、実施可能な医療的ケアについての看護計画（個別マニュアル）等を作成するとともに、常に看護計画を見直し、的確な改善を行っている。</li> <li>・児童生徒の実態やニーズを踏まえて目標を設定し、年間を通じて計画的に医療的ケアを進めている。</li> <li>・教員間で医療的ケアに関する課題や学部・学年運営上の課題を共有するなど、相互理解に努め、積極的に連携・協力している。</li> <li>・看護に関する専門的知識・技能が常に発揮され、児童生徒の健康・安全を促進している。</li> </ul>
	環境整備等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療的ケアに必要な器具等の、日常の点検及び衛生管理を適切に行っている。</li> <li>・日頃から、保護者、医療機関等との連絡を密にし、救急処置に必要な協力体制を形成している。</li> <li>・感染症や疾病の予防、救急処置等の専門的な知識・技能の向上に努めるとともに、緊急事態に対して、冷静、的確に対応している。</li> </ul>
III 担当する校務等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当する校務の課題を的確に認識し、改善に向けて組織的、計画的に取り組んでいる。</li> <li>・教職員とのコミュニケーションを図り、適切に指導・助言している。</li> <li>・開かれた学校づくりに意欲的に取り組んでいる。</li> <li>・教育公務員として、高い自覚を持ち、規律の遵守や公正を重んじた行動をとっている。</li> </ul>
チームワーク行動		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的に円滑なコミュニケーションを取りながら、キャリア段階ごとに期待される行動を行っている。</li> </ul>